

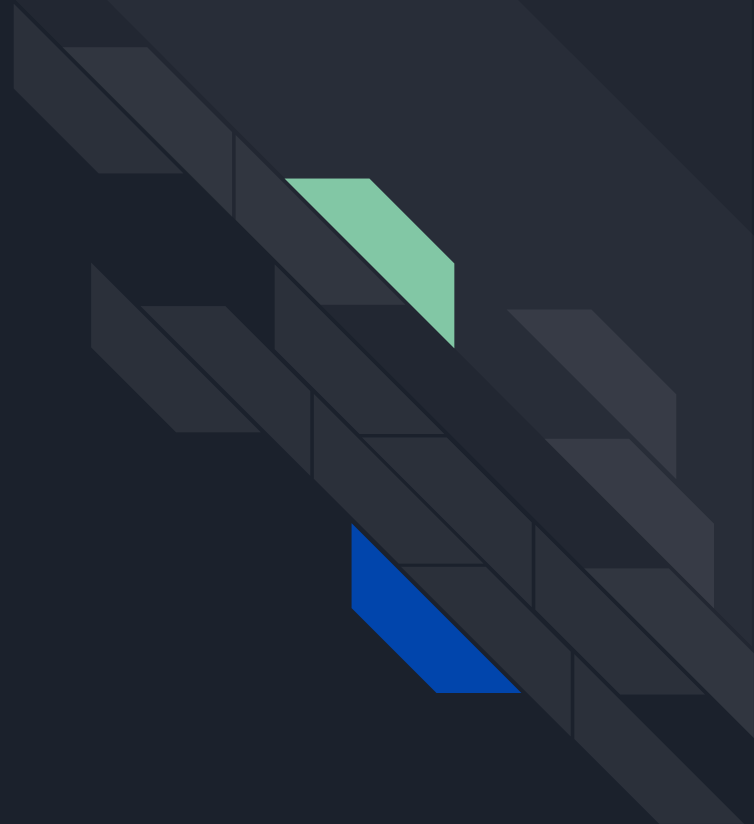


# ルールの学習法について

Satoshi Oishi L2  
@コウシン学習会7/5

# プレゼンの流れ

- ・「ルールを学ぶ」とは
- ・どうやってルールを学ぶのか
  - ・考える方法
  - ・自分の経験から
    - ・具体的に
- ・アップデートするには
- ・重箱の隅





# おことわり

今日のプレゼンは..

- ・ルール of 勉強法を総体的に話します。ですので
  - ・具体的なカード、ルールは出てきません。
    - ・《Equinox》は出てきません。
    - ・《謙虚/Humility》も出てきません。
    - ・《洞察のランタン/Lantern of Insight》も出てきません。



# 「ルールを学ぶ」とは

そもそもルールを学んでなんだろう？

→漠然と「ルールに詳しくなること」ではある。では具体的には？



# 「ルールを学ぶ」とは

そもそもルールを学んでなんだろう？

→漠然と「ルールに詳しくなること」ではある。では具体的には？

→総合ルールを学ぶこと&カード個別のルールを学ぶこと

→「ルールテキストを実際の挙動へ変換する能力を高めること」とも表現できる



# ルールを学んでどうする？

ジャッジであるために必要な最低限の知識を学べばよい？

→「最低限」の定義上肯定されるが..

ではわざわざより深い知識を得る理由は？



# ルールを学んでどうする？

ジャッジであるために必要な最低限の知識を学べばよい？

→「最低限」の定義上肯定されるが..

ではわざわざより深い知識を得る理由は？

→裁定に困らなくなる

→「ジャッジであるために必要な最低限の知識」では対処できないことも

→裁定できないことがあると、自信の喪失につながる

→知識欲を満たす(!)

→ジャッジのモチベーションにつながる



# どうやってルールを学ぶ？

では実際どうやってルールを学ぶか？

→総合ルールを通読する

→有効ではあるが、時間もかかるし初学者に読める量ではない。

→そもそも通読しやすいように書かれていないので、読んでて楽しくない個人差があります)

→わたしの通った方法を紹介します。





## ○石流ルールの勉強法

(名前はどうでもいいのですが、)わたしがどのようにルールを学んだか分析します。

- ・結果だけ言うと、(もしかしたら総合ルールの通読以上に時間はかかります。
- ・しかも大量のインプットが必要です。
- ・そもそも「分析」とあるとおり、最初に明確な方法論を持ってルールの勉強をしたわけではない。「なぜ勉強できたか」はブラックボックスだった。
- ・そういった中で見つけた方法とは



## ○石流ルールの勉強法

(名前はどうでもいいのですが、)わたしがどのようにルールを学んだか分析します。

- ・結果だけ言うと、(もしかしたら総合ルールの通読以上は時間はかかります。
    - ・しかも大量のインプットが必要です。
  - ・そもそも「分析」とあるとおり、最初に明確な方法論を持ってルールの勉強をしたわけではない。「なぜ勉強できたか」はブラックボックスだった。
  - ・そういった中で見つけた方法とは
    - カードごとの相互作用を学び(点)、裏付けになるルールを引く(線)
- ことを繰り返し、点を線でつないでいく作業



## 具体的に何をするか

先の方法には大量のインプット(点)が必要。そしてそれを調べる(線)作業も必要。

では具体的にどうやってインプットを得るのか？



# 具体的に何をするか

先の方法には大量のインプット(点)が必要。そしてそれを調べる(線)作業も必要。

では具体的にどうやってインプットを得るのか? (“調べる”は総合ルールを引くこととして

- ・リリースノートを読む
- ・先輩ジャッジに聞く(L1であればメンターに聞くこともできます)
- ・AppsのRules Q&Aを読み漁る(英語)
- ・@testing\_boxを見る(オススメ!)
- ・(非推奨)草の根ルール問答を覗く。某巨大掲示板、Astral Guild、など...
  - (回答を見るというより)問題に対して自分なりの答えを用意し、ルールの裏付けを試してみる
  - 書き込みは自己責任で。



# この方法のよいところ

- ・楽しい！
  - ・カードのイラストが見える！
  - ・変なカードに会える！
  - ・知識欲が満たされる！
- ・実際のカードからルールを逆引きすることで、ルールがなんのためにあるか把握しやすい
  - やる気が持続しやすい
  - なんだかんだルールを読む



# ルールは一日にして成らず

ルールに一瞬で詳しくなれる魔法はない。

→たくさんケースに触れて、たくさんルールを読む

→いつの間にか、点でしかなかったケースが線につながっていく

→自分の頭の中にルールが構築されていく



# アップデートの時間だ！

苦勞して覚えたルールがどんどん更新されていく。

→どうやって自分で構築してきたルールを更新するか？

→更新された新しいルールに関連するケースをたくさん読み込んで、古いルールを無理やり追い出す

→時間はかかるが(相対的に)簡単

→総合ルールの差分を逐一確認する

→時間はかからないが少々難解ルールに直接あたるため

→具体的ケースと差分の確認の併用がおすすめ



## 重箱の隅

(あれ、今日《Equinox》は出てこないって..)

ルールをたくさん学んでいるうちに妙なカードに出会う.

→「このカードはトーナメントで見たことがないので知らなくていいや」

→「面白いな、〇〇と組み合わせると」





## 重箱の隅

(あれ、今日《Equinox》は出てこないって..)

ルールをたくさん学んでいるうちに妙なカードに出会う.

→「このカードはトーナメントで見たことがないので知らなくていいや」

→おめでとう。あなたは正常です。

→「面白いな、〇〇と組み合わせると」

→ようこそ！あなたはこちら側の人間です！



# 重箱の隅の実務的な取り扱い

冗談はさておき...

トーナメントで稀に会う「コーナーケース」をどう対処するか

→見なかったことにする

→だめです。問題は解決されていません

→知識で殴る

→できれば最高ですが、全員ができる方法ではない

→裁量でどうにかする

→上と似ているが、全員が取れる方法



## 裁量で解決するためには

問題が自分や同僚の知識を超えており、すぐに調べがつかない場合

→(深刻さに応じて付け加える(普通は言わない)「このケースは我々が合理的な時間でルールの裏付けをすることができないので、HJの裁量において裁定します。」「後日調査しますが、今日のところはHJ裁定に従ってください。」etc

→自分の経験の範囲で「そうであるべき」ルールと照らし合わせて、裁定する

→後日Discordや仲間のジャッジに聞く



# まとめ

(改めて)ルールに一瞬で詳しくなれる魔法はない。

→時間がかかるならなるべく楽しく学ぼう！

→たくさんインプットしよう！

→たくさん調べよう！

→コーナーケースもあるぞ！



ありがとうございました

大石 諭

L2 Sendai, Japan

twitter:@satoshioishi

DN:<https://affinityforaffinity.diarynote.jp>